

生き残るためのビジョン、住んで良かったと思う、一番自慢でき、町が誇りに思うことはあるか。

問

岡田良成



町が自慢できることは

答

伝統文化

答

町長

町には素晴らしい自然や数多くの伝統文化、優れた知識や技術が豊富であり、自慢できる事柄ではないかと思う。

問

岡田

そのような内容ではない。例えば高校教育の通学費は無料であるとか（通学で家庭負担が多くなるため、家族が町外へ流出する）思い切った政策で、次年度は予算計上することを要望する。

財政問題、特別支援措置27年度で終了、32年度に普通交付税が終了するが、将来を見据えた（本町税収5億5千万円）財政運営を考えているか。

答

町長

支援措置は27年に終わり、28年から普通交付税が段階的に減少し、32年度をもって終了する。将来的な財政収支も試算しながら持続可能な財政運営を行う。



黒岩観光（定期バス）

問

岡田

池川高齢者センター、昨年度補助金3千500万円を出したが倒産、経営審査し補助金を出すべきであった。

町内公共施設の電気料2千800万円、緊張感をもって対処すべき。

本町人口6千600人で、職員数148人多い。越知町は人口6千415人で、職員数は107人。

答

町長

職員数は33年には、三役を含め120人前後の想定。

自ら辞すべき

問

岡田

町内在住職員は24時間体制（災害時等）、町外通勤者は8時間、随分差がある。

旧仁淀村の職員に話しを聞くと、同僚職員が町外に転出をしたが、私がこの土地を離れると集落

がなくなるから、出て行く訳にはいかないと責任感と強い思いをもっている職員もいる。

町民、同僚職員の心を感じない、町民のためにならない職員は、自分から辞めるべきである。

町民は職場もなく、職員が町外に流出することで、町内は高齢化、過疎化に拍車がかかっている。職員は町民のおかげで生活ができることを忘れてはいけない。

若者定住事業や町に対し、活性化の意見を述べても通用しない。仕事のできない者は辞めるべき、それが町民の心である。正、副町長も町外から通っていると思うが、同様なことである。

町民を守るために、今以上に頑張るべきである。

答

町長

町外からの勤務については、個人面談、幹部会で話をし、町内に住んで町のために働き、信頼ある行政を目指し、職員にも理解を得る努力をする。

中学校 1 校 (大崎)

答**南北2校で****問**

岡 田

町内2校になっても、将来生徒数の減少（5年先には推定75人）を見据え、越知町に通学する生徒がおり、今後外へ通学する可能性、家族が転出をする場合もあり過疎に拍車がかかる。

財政的にも厳しい折、池川中学校に2億円余りの耐震工事をするには無駄になる。近い将来1校にならざるを得ない状況である。

答

町 長

大崎1校という意見も多くあることも分かるが、教育環境、地域の活性化、南北に長い町内の地域づくりと考えるといくため2校案である。

答

大野教育長

2校で進めている。もう一度テーブルに着くように質問されたので、検討委員会とも話してみたい。

財政破綻をした夕張市は

答**流出は止まらない****問**

岡 田

夕張市の二の舞になってはいけない。

答

岡崎総務課長

財政破綻をした夕張は、税金もすべて上がっている。

答

下方仁淀総合支所長

若者中心に人口流出が激しく、高齢者比率も全国の中では珍しく40%を越えている。財政再生団体に転落すると提供するサービスは最低レベル、負担は最高レベルとなる。依然として人口の流出は止まっていない。

コラ

私が名野川小学校の行事で楽しかったのは、もみじ祭りとスキーです。

くて大変でした。でも、がんばって練習をしました。

ソバ打ちとか楽しかったです。

スキー遠足に行くようになってから、

スキーができるようになりました。

りました。スキーはやり

方によってスピードがち

がいます。

一番楽しかった行事

スキーができるようになって楽しいです。みんながすべれるようになって、家の人もいけるようになりました。

六年 掛水 遥加



池川中 体育授業（全校生徒30人）

休校になる名野川小の後の利用方法は考えているか。

問

西森常晴



名野川小に グループホームを

答

検討する

答

大野教育長

名野川地域の中心地で中津公園の入口でもあり、地域の文化の向上や防災などに活用して行きたいが、まだ具体的な方針は定めていない。

問

西森(常)

吾川村当時から、名野川地域では、グループホーム設置の要望が出ているが、名小の建物に改造を加えて実現できないか。

答

鎌倉保健福祉課長

今後検討してみる。

問

西森(常)

廃園になった名野川保育所の跡地利用は考えているか。

答

教育長

土地は町有地であり、若者定住などに活用できないか考えている。建物は取り壊す。

新庁舎は複合施設で

答

協議会で検討

問

西森(常)

町の施設の耐震状況はどうなっているか。

答

岡崎総務課長

大崎診療所は崩壊の危険性が高いとの診断を受けている。

基幹集落センター、森林組合の事務所は共に、昭和54年の建設であるので、耐震診断が必要。

答

教育長

中央公民館は、昭和55年に建築し、比較的強度を有していると思うが、耐震対策は考えていく。

問

西森(常)

新庁舎の建設には、これらの施設も合わせた複合施設を検討すべきではないか。

答

竹本企画課長

協議会の中で、町民にとってより利便性の高い庁舎にしなければならな



名野川保育所跡地



休校になった名野川小学校